

授業科目名 <英訳>		社会健康医学課外実習 Field Training for Public Health Practice			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 小泉 昭夫				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 通年集中	曜時限	集中講義	授業 形態	実習	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

I. コースの概要

- ・就業体験を通じて、学んだ専門知識等を活かし、応用力を高める。
- ・キャリアデザインの具体化につなげる機会とする。
- ・所属分野の指導教員と、場合によっては、加えて他分野の主担当教員とも、十分に相談の上、履修届を出してください。
(計画未確定のままに急いで、学年初め・学期初めに履修届を出す必要はありません。)

II. 学習到達目標 (このコース終了時まで習得が期待できること)

- ・社会の現場に必要な技能の向上を図る。
- ・大学院で得た知識・技能を、いかにして実務に役立たせるかを確認する。
- ・志望する就業の現場での雰囲気や必要な技能を知る。
- ・実務を通じて、社会貢献をする。

III. 教育・学習方法

- ・就業体験を通じて、学んだ専門知識等を活かし、応用力を高める。

[到達目標]

学習到達目標 (このコース終了時まで習得が期待できること)

- ・社会の現場に必要な技能の向上を図る。
- ・大学院で得た知識・技能を、いかにして実務に役立たせるかを確認する。
- ・志望する就業の現場での雰囲気や必要な技能を知る。
- ・実務を通じて、社会貢献をする。

[授業計画と内容]

所属分野の指導教員等と、十分に相談の上、インターンシップの計画を立ててください。

[履修要件]

KULASISでの履修登録はできません。履修する場合は、窓口に出してください。

社会健康医学課外実習(2)へ続く ↓ ↓ ↓

社会健康医学課外実習(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

- ・終了後速やかにレポート（定型部分の様式は教務委員等を通じて入手すること）を作成し、かつ、インターン先の責任者と指導教員の確認を得ること。
- ・合否のみ、判定する。

[教科書]

- ・ 諸々の学習資源は、就業体験を通じて得られる。

[参考書等]

(参考書)

- ・ 諸々の学習資源は、就業体験を通じて得られる。

[授業外学習（予習・復習）等]

適宜予習復習を求める

(その他（オフィスアワー等）)

その他メッセージ

- ・他の履修科目の日程と重複しないように計画してください。重複した場合、インターンシップを優先するわけではありません。必要な際は、該当する科目責任者に相談してください。
- ・履修登録（単位取得）せずに、インターンシップを行ってもかまいません。
- ・実質的な業務が計60時間以上で2単位。計30時間以上で1単位とします。
- ・上記の時間の目安と、就業体験の内容と質を、主担当教員（指導教員等）が評価し、合否と単位数（1単位か2単位）を判定します。
- ・次頁様式の報告書を主担当教員（指導教員等）に提出し、履修届けを同時に行ってください。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。